

**NIKKEI
SDGs
Forum**



日経SDGsフォーラム 2022年度ご提案書

日本経済新聞社
日経BP

2018年7月「日経SDGsフォーラム」発足

「日経SDGsフォーラム」は日本におけるSDGsの推進エンジンを目指します

2015年9月、全国連加盟国は、より良き未来を実現するために今後15年かけて貧困・不平等・不正義をなくし、私達の地球を守るための計画「アジェンダ2030」を採択しました。この計画が「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」です。

持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない(No one will be left behind)ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサルなものであり、日本でも官民を挙げて取り組みが加速しています。

多くの企業・団体が地球の未来を真剣に考え、このSDGsをベンチマークにした行動ガイドラインの策定が進んでいます。資本市場では、SDGsを後押しするESG投資の考えも急速に広がっています。

「日経SDGsフォーラム」は2030年まで、持続的に運営してまいります

SDGsは2030年までの国際目標です。日本経済新聞グループは、SDGsの目指す理念・趣旨に賛同し、持続可能な社会づくりをグループを挙げて支援してまいりたいと考え、2018年7月に「日経SDGsフォーラム」を発足させました。

SDGsが単なるブームやbuzzwordに終わることが無いよう、目標年度である2030年まで持続的に「日経SDGsフォーラム」を運営してまいります。

本フォーラムでは、SDGsをテーマに日本経済新聞や日経グループの各種メディアと共に、パートナー企業・政府・地方公共団体・教育研究機関・民間団体とのネットワークづくりを促進し、日本のSDGsの推進エンジンとしての役割を果たしてまいります。

5年目を迎える2022年度も、多くの皆様と共にSDGsの理念を具体化するための取り組みを進めて参ります。皆様のご入会を心よりお待ちしております。

「日経SDGsフォーラム」は、「SDGs未来面」企画をベースに
「日経ESG経営フォーラム」(日経BP社)などと有機的な連携を図ります。

NIKKEI
SDGs
Forum



日経ESG経営フォーラム

「日経SDGsフォーラム」は、会員企業様がESG投資の対象として
市場に認識されるためのブランディングの場づくりを目指してまいります。

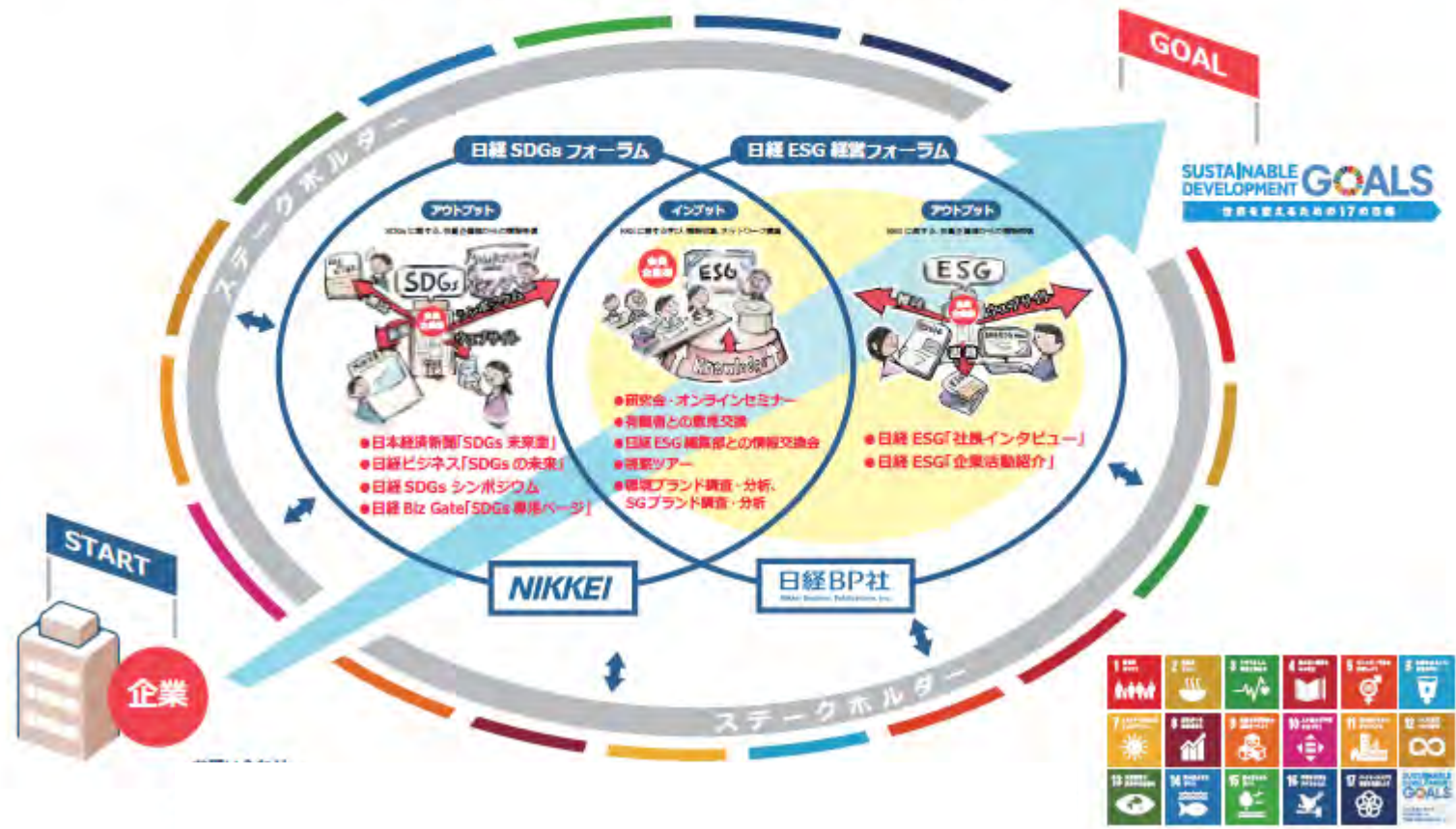
日本経済新聞社の使命として、本フォーラムでの持続的な様々な取り組みを通じて、
会員企業様のESG投資における市場との効果的な対話へのサポートも行ってまいります。



- 2015年9月、国連総会で193の全加盟国によって「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ(2030アジェンダ)」が全会一致で採択。
 「誰一人取り残さないーNo one will be left behind」を理念として、重要な指針として、
 17の目標(ゴール)が持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals:SDGs)として設定。
- SDGsは、2030年の世界目標として都市問題、気候変動、格差などの課題の解決を目指すもの。
 SDGs達成のためには、一人ひとりに焦点を当てる必要がある。これを、途上国、中進国、先進国とあらゆる国々で取り組むことが必要。また、企業や市民社会の役割が益々高まり、あらゆるステークホルダーが連携すること(グローバル・パートナーシップ)が求められています。
- 日本政府においても、2016年5月に総理を本部長とするSDGs推進本部が設置。
 2016年5月に内閣総理大臣を本部長とし、全閣僚を構成員とする「SDGs推進本部」が設置され、国内と国際協力の両面で率先して取り組む体制を整えました。2016年12月には日本の取組の指針となる「SDGs実施指針」を策定。2020年12月の第9回推進本部会合では、「SDGsアクションプラン2021」が策定され、さらに2021年6月には4年ぶりに「自発的国家レビュー(VNR)」が発表されるなど取り組みは加速しています。

日経ESG経営フォーラム | 日経SDGsフォーラム

日経 BP 社と日本経済新聞社は、日本における SDGs の推進エンジンを目指し、「日経 ESG 経営フォーラム」と「日経 SDGs フォーラム」を主催しております。



日本のSDGs推進のハブとなる組織体を目指します

「日経SDGsフォーラム」は、日経ESG経営フォーラムと連携し、持続的な取り組みと情報発信を2030年まで継続して取り組んでまいります。

①SDGs未来面企画

ご希望時期

「日経SDGsフォーラム」の中心的企画です。日本経済新聞の紙面と電子版を通じ、経営者と読者が一緒に日本の課題について考え、未来像を議論する「未来面」。その未来面を「SDGs」にテーマを絞り、編集委員による経営者インタビュー形式で情報発信します。



日本経済新聞

②日経ビジネス

ご希望時期

ビジネスリーダーの主読誌
日経ビジネスに、
2ページの広告掲載



③シンポジウム

〔国内3回〕

①5月9日週 東京

②9月12日週 東京

③12月5日週 東京

※米国開催も調整中(7月or8月)



日本経済新聞

2022年5月、9月、12月に東京で大型シンポジウムを実施します。シンポは開催後に報告特集を掲載。電子版紙面ビューアーにも掲載されます。また、国連の「持続可能な開発に関するハイレベル政治フォーラム(HLPF)」に合わせて米国での開催も検討しています。

日本経済新聞 電子版

④日経ESG経営フォーラムの研修プログラム

通年



SDGsをテーマに、産官学金が集う「日経ESG経営フォーラム」(主催:日経BP社)が実施する研修会・意見交換会・視察会などへ参加いただけます。

日経ESG経営フォーラム

(22年度施策を調整中)

日本経済新聞 電子版

⑤デジタル

通年

①SDGs未来面企画

「SDGs 未来面」とは

日本経済新聞の紙面と電子版を通じ、経営者と読者が一緒に日本の課題について考え、未来像を議論する「未来面」。

(毎月第1月曜日＝経営者編、第4月曜日＝読者編掲載)
その未来面を「SDGs」にテーマを絞り、編集委員による経営者インタビュー形式で情報発信をします。

※内容詳細は別紙企画書をご参照ください

未来面 掲載事例

【テーマ】
テーマに関しては、事前に編集局との調整が必要となります。

【テーマについての解説】
SDGsの方向性や、わが国における動向について、解説。

【協賛企業様の社長へのインタビューによる記事】
テーマに沿って、現在の成果、今後のビジョンについて取材を行い、掲載します。



広告 掲載事例



サントリー
ホールディングス様
日経朝刊
2020年3月17日掲載
15段カラー



サントリー
ホールディングス様
日経朝刊
2020年1月22日掲載
15段モノクロ

■編集面

○掲載日: 2023年3月末まで
※原則として毎月第2・第3月曜日に掲載予定

○掲載媒体: 日本経済新聞 朝刊全国版

○体裁: 全15段カラー 編集記事

■ご注意事項

- ・編集面の協賛企業様への取材は、編集局が行いますが、事前に記事の確認はできません。
- ・テーマ別の記事に関しては、競合他社の商品・サービスも入る場合がございます。

■広告

○掲載日: 2023年3月末までのご希望時期

○掲載媒体: 日本経済新聞 朝刊全国版

○体裁: 全15段モノクロ

※日本経済新聞社制作の記事体広告または純広告

※記事体広告の場合は、別途原稿制作費がかかります。

※カラーの場合、全国版は15段あたり4,900,000円(税別)別途。



②日経ビジネス

日経ビジネスのタイアップページでビジネスリーダーに情報発信

日本でNo.1の支持を得ている経済・経営の総合情報誌「日経ビジネス」でタイアップ企画を実施します。



掲載事例

AGC様
2020年10月26日号掲載



掲載事例

MS&ADホールディングス様
2020年1月27日号掲載

- 掲載日: 2023年3月末までのご希望時期
 - 掲載媒体: 日経ビジネス
 - 体裁: 4C2Pタイアップ
 - ※日経BP制作のタイアップ広告
 - 発行部数: 153,531部(2020年1月~6月)ABC部数
 - 発行形態: 週刊(毎週月曜日発行)、年間50冊
- 【備考】
本タイアップ広告にトップが登場される場合、「SDGs未来面」の取材とは別に、インタビューをさせていただきます。



③シンポジウム【東京】

年3回の大型シンポジウムで内外に情報発信

2022年度は、東京でSDGsをテーマにした大型のシンポジウムを3回開催予定。
内外の第一線の有識者による最先端の議論を交わし、ウイズコロナ・アフターコロナ時代における日本の「SDGsモデル」を発信します。
シンポの様子は、日本経済新聞・Financial Times等の日経グループの主力媒体で広く内外へ情報発信を行い、SDGsの気運醸成を図ってまいります。会員企業・団体は優先的にシンポジウムへの登壇も可能です。

- 名称: 日経SDGsフォーラム シンポジウム
- 主催: 日本経済新聞社、日経BP社
- メディアパートナー: Financial Times
- 協力: 日経ESG経営フォーラム
- 時期: 年間3回予定

①2022年5月9日週
会場: 日経ホール(予定)

※ハイブリッド方式で実施予定
「日経SDGsフェス」の中心イベントとして開催します。
採録は日経＝編集特集、FT＝広告特集で掲載

②2022年9月12日週
会場: 日経ホール(予定)

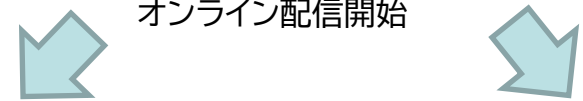
※ハイブリッド方式で実施予定
「日経SDGsフェス」の中心イベントとして開催します。
採録は日経＝編集特集で掲載

③2022年12月5日週
会場: 日本橋三井ホール(予定)

※ハイブリッド方式で開催予定
「日経SDGsフェス」の中心イベントとして開催します。
採録は日経＝編集特集、FT＝広告特集で掲載



20年度より日経チャンネルで
オンライン配信開始



(2021年度事例)
2021年7月8日
Financial Times



(2021年度事例)
2021年6月21日
日本経済新聞



日経BizGate ポータルサイト

③シンポジウム【東京】

事前募集～シンポジウム開催当日まで視聴番広告を日経新聞に複数回掲載。
視聴ユーザーを着実に積み上げます。

〔掲載例〕

2021年4月28日
日経朝刊

2021年8月30日
日経朝刊

2021年12月6日
日経朝刊



2022年度日経SDGsフォーラムの実施方法について

新型コロナウイルス感染症の状況、政府・東京都のガイドライン等に従い、募集開始前に実施方法を判断いたします。

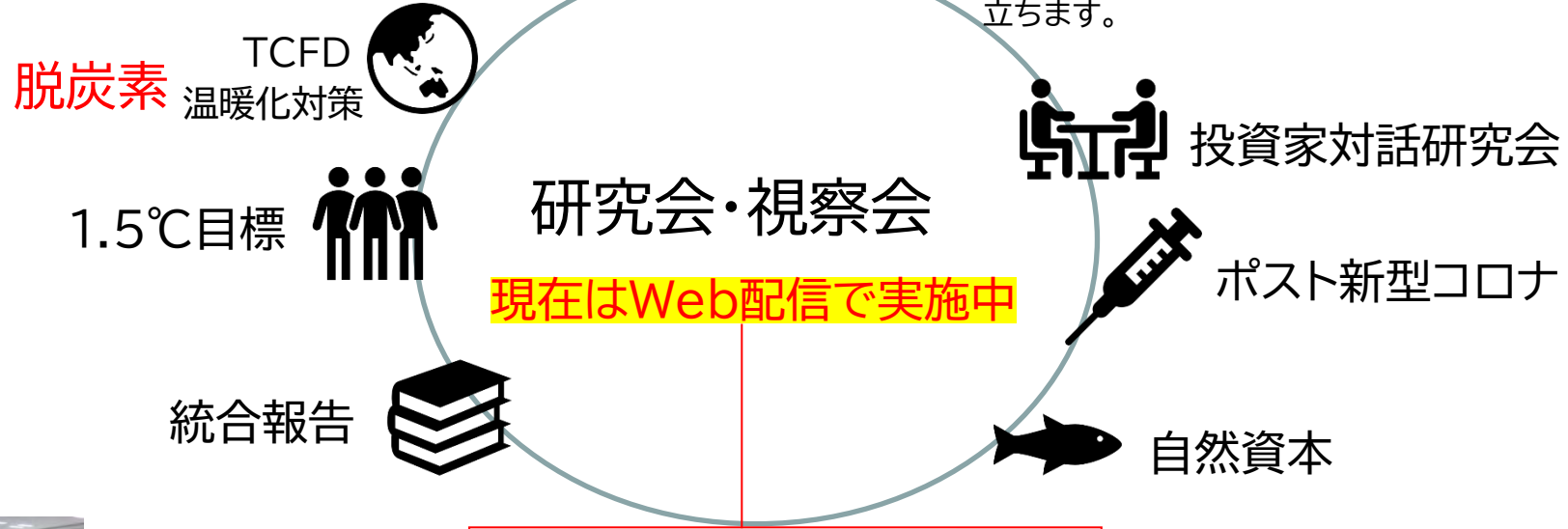
○オンライン配信のみでの実施(「日経チャンネル」で配信します)

○ハイブリッド形式での実施(オンライン配信+聴講者)

※2020年度は、オンライン配信のみで実施。2021年度は5月・9月開催分をオンライン配信、12月開催分をハイブリッド方式で開催

④研修プログラム

年30回の研究会、視察会を実施



産官学金が集う「日経ESG経営フォーラム」(主催:日経BP)が実施する多彩な研修プログラムにご参加いただけます。最新動向の情報収集や、効果的なネットワーク構築に役立ちます。



トップミーティング(社長限定朝食会議)

新アドバイザーボードメンバー講演会
「ESG投資の最新動向とサステナビリティ情報開示」

「投資家対話研究会」を開催



日経 ESG 経営フォーラム

共生から対話へ

機関投資家と会員企業のマッチングをスローガンに、2年目を迎えたフォーラムはさらに進化します。

会員制サービスの「日経ESG経営フォーラム」では、会員企業のESGへの取り組みにお役立ていただけるよう年間を通じて研究会、専門分科会の開催や各種調査を実施するとともに、会員企業の情報発信も支援します。

「日経ESG経営フォーラム」のお問い合わせ先 資料請求はこちらへ nbp.jp/esg TEL.03)6811-6803

会員限定講座

6月5日(水)開催 第5回「統合報告書」分科会

日経ESG経営フォーラムの統合報告分科会では、統合報告書を企業の競争力向上に生かす方法をシリーズで学びます。第5回は統合報告支援グループメンバーの宮田洋兵衛氏を講師に迎えます。宮田氏は大手有力企業の統合報告書の作成を支援する傍ら、GRIと関連グローバルコンプライアンスが発行したSDGsの情報開示フレームワークの策定にも関わっています。講演後は受講者の皆さんから現在抱えている課題や疑問を聞きながら宮田氏とディスカッションします。

「日経ESG経営フォーラム」の活動は、下記URLからご覧いただけます。
<https://nbp.jp/ESGF>

機関投資家と会員企業との対話を促進「投資家対話研究会」を開催中

第1回

「ESG投資の拡大と企業経営」

野村アセットマネジメント責任投資部長 今村 敏之氏
BNPパリバ・アセットマネジメント CEO・代表取締役社長 土岐 大介氏

第2回

「投資家との関係構築と企業価値の向上」

いちごアセットマネジメント代表取締役社長 スコット・キャロン氏

第3回

「グリーンファイナンスを考える ESG時代の新たな債券と融資とは」

大和証券デット・キャピタルマーケット部オリジネーション課
グリーンボンド担当副部長 清水 一滴氏
三菱UFJ銀行 ソリューションプロダクツ部
サステナブルビジネス室長 柳田 陽子氏

第4回

「新型コロナ後のESG投資の役割と方向性」

JPモルガン・アセット・マネジメント 機関投資家営業部
サステナブル・インベストイング担当 岡田千枝氏

第5回

「上場企業とESG投資の関係」

三井住友トラスト・アセットマネジメント 常務執行役員 堀井 浩之氏
りそなアセットマネジメント 執行役員 責任投資部長 松原 稔氏

第6回

「急速に進む『対話』の新たな形」

ブラックロック・ジャパン 代表取締役社長 有田浩之氏
アムディ・ジャパン チーフ・レスポンス・インベストメント・オフィサー 岩永泰典氏
三菱UFJ信託銀行 資産運用部 副部長 三橋和之氏
アセットマネジメントOne 常務執行役員 運用本部共同本部長 青木信隆氏
(聞き手)日本経済新聞社 編集委員 藤田和明

④研修プログラム【伊藤意見交換会】

SDGsフォーラム会員企業の経営トップがご参加いただけます。



○企業によるSDGs推進とESG経営の実践を広げるために、この分野の第一人者である伊藤邦雄氏(TCFDコンソーシアム会長、一橋大学CFO教育研究センター長)と、日経SDGsフォーラム会員企業、日経ESG経営フォーラム特別会員の経営トップによる対話の場を設定します。

○旬のトピックや海外動向、日本企業の課題などについて議論し、企業価値向上につながる研究を深める場としてご活用いただけます。

【2021年度開催実績】

- (1)2021年7月7日
- (2)2021年11月12日
- (3)2022年2月7日(予定)

【開催概要】

・日経ESG経営フォーラムが運営する年間研究会・勉強会に加えて、日経SDGsフォーラムとの共催による伊藤教授との連続意見交換会」を開設します。

・日経SDGsフォーラム会員企業と、日経ESG経営フォーラムの特別会員企業を対象にした対話会(朝食会)を年間3回程度実施予定です。会員企業トップと伊藤教授の議論を深めます。

・会合ごとに「TCFD」「株主総会」「ガバナンス」などテーマを設定して、議論いたします。

・機関投資家ら特別ゲストを迎えて、議論の幅を広げることも検討し、対話の形式の多様化も検討中です。

・企業トップら関係者も含めた交流の場としてご活用いただけます。



⑤デジタルでの情報発信

SDGsの最新情報を、Webサイトで国内外へ発信します

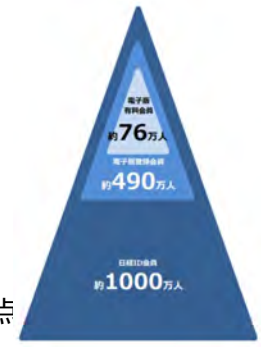
国内発信

2021年5月より、日経SDGsフォーラムのポータルサイトを開設。
また、「ビジネスパーソンの課題解決の扉を開く」日経電子版のサイト、
日経BizGate内にもSDGs専用ページを設置。「SDGs未来面」などの
新聞掲載記事を掲載してまいります。



企業のブランドイメ
ジを高めるクオリティ
メディア「日経電子版」



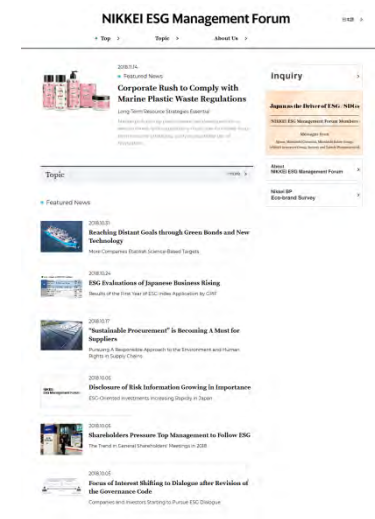
※2020年7月時点

海外発信

日経ESGのサイトでは英文での情報発信も実施します。
各社様の「SDGs未来面」をすべて英文でも情報発信
します。

<https://business.nikkeibp.co.jp/ESG/eng/>

NIKKEI ESG Management Forum



日経グループを挙げて開催する国内最大級のSDGsの一大イベント

日本経済新聞社が日経BP、FTと連携して開催する日本最大級のSDGsをテーマにした一大イベントです。産官学民のSDGsの取り組みを情報発信し、日本のSDGsモデルの促進を追求します。DX、ジェンダーギャップ、気候変動、エネルギー、健康、資産運用、教育、海洋プラスチック等幅広いテーマを取り上げます。

「日経SDGsフォーラム」は、日経SDGsフェスのメインイベントとして開催いたします。

日経朝刊
2021年1月3日掲載

SDGsフェス 読者参加型、自治体とも連携

日経BP、FTと連携してSDGsフェスを年4回開催する予定です。政府・自治体・企業・市民のSDGs達成への取り組みを内外に発信していきます。

幅広い年齢層に向けてSDGsをテーマにしたシンポジウムをリアルとオンラインのハイブリッドで開催。国内外の有識者、経営者、政府、自治体関係者、NPOなどを招聘する日経グループを挙げた大規模イベントです。DX、ジェンダーギャップ、気候変動、エネルギー、健康、資産運用、教育、海洋プラスチック等幅広いテーマを取り上げます。

本年はデジタル技術を駆使して、読者参加型のプロジェクトとします。全国各地の持続可能な街づくり、地域づくりを推進する自治体、企業、団体と連携し、市民の幸福実現をサポートしていきます。

企業にはSDGs未来面、FT紙面での情報発信、日経ESG経営フォーラムへの参加により、SDGs達成へのサポートをグループ挙げて行います。

「エコプロ」など3展示会を開催

SDGs Week

持続可能な社会の構築を目指し、「SDGs Week」の総称で以下の3展示会を12月8〜10日に東京ビッグサイトで開催します。「エコプロ」ではSDGsの達成に向けた企業・団体の取り組みや最新の環境技術を紹介。「社会インフラテック」は道路・橋梁などのインフラ維持管理、老朽化対策技術を提案します。「気候変動・災害対策Biz」は再エネや防災・減災の最前線を展示。本展はオンラインでも同時開催します。

毎回、万単位の登録者数を確保する国内最大規模のSDGsイベント

春

5月10日～5月14日

開催地:大丸有エリア
特別協力:三菱地所

※「SDGsフォーラムシンポジウム」は5/13開催

開催日	イベントタイトル	事前登録者数 (最終)	視聴ユニーク デバイス数
5月10日	日経SDGs/ESG会議	3,081	4,549
5月10日	日経SDGsフォーラム 特別シンポジウム 「資源としてのPETボトル」を生かす 循環型社会への取り組み	1,743	2,192
5月11日	日経社会イノベーションフォーラム 「カーボンニュートラル実現のための水素実装 グローバル連携での水素バリューチェーン」	2,914	4,817
5月11日	デジタルの力で推進するSDGs ～DXによるイノベーションで未来を創る～	1,546	2,033
5月12日	ヘルスSHIFT100会議 ～ポストコロナ新時代に向けて～	1,057	1,773
5月13日	日経SDGsフォーラム シンポジウム 「一人ひとりが始める社会変革」	4,223	4,919
5月14日	日経 ウーマンエンパワーメントプロジェクト ジェンダーギャップ会議～ジェンダー平等を、トップの言葉に。組織の力に。～	1,451	2,243
5月14日	資産運用会社の未来像を考えるプロジェクト シンポジウム 「社会課題解決に向けた『対話』のあり方」	1,174	1,320
	※計(のべ)	17,189	23,846

※上記事前登録者数は、各日のセッションの合計値です。
※上記UDは、各日のUD(ユニークデバイス/日)の合計値です。

「日経SDGsフェス」2021年度実績

秋 9月13日～9月18日

開催地:大丸有エリア
特別協力:三菱地所

※「SDGsフォーラムシンポジウム」
は9/13開催

開催日	イベントタイトル	事前登録者数 (最終)	視聴ユニーク デバイス数
9月13日	日経SDGsフォーラム シンポジウム	3,218	3,654
9月13日	グリーンアーキテクチャ会議 ～都市、インフラ、住宅・建築の新たな経営指標を探る～	1,554	2,103
9月14日	日経 社会イノベーションフォーラム「はじまる 水素実装ステージ 作る・貯める・運ぶ・使う～カーボンニュートラルを目指して～」	1,810	2,750
9月14日	AM:サステナブル・ファイナンスセミナー 「ニューノーマル時代に期待されるESG金融市場の役割」	903	1,869
	PM:資産運用会社の未来像を考えるプロジェクト シンポジウム	800	
9月15日	プラスチックごみZERO 日経SDGsフォーラム 特別シンポジウム	1,557	2,129
9月15日	日経SDGs/ESG会議 「日本企業の競争力を磨く」	3,064	3,468
9月16日	カーボンゼロ時代の再資源化戦略	1,726	1,962
9月16日	デジタル・サステナビリティ会議 ～DXの先を行く持続成長の実現に向けて～	1,575	1,714
9月17日	「貯蓄からSDGsへ」 資金循環の仕組みづくりを通じたSDGsの実現	637	728
9月17日	日経 ウーマンエンパワーメントプロジェクト ジェンダーギャップ会議～本気の多様性確保に向けて～	1,559	1,683
9月18日	高校生SDGsコンテスト	583	1,786
※計 (のべ)		18,986	23,846

冬 12月6日～12月10日

開催地:日本橋エリア
特別協力:三井不動産

※「SDGsフォーラムシンポジウム」は
12/6、12/7開催

	事前登録者数 (オンライン最終)	視聴者数 (ユニークデバイス)
1206_日経SDGsフォーラムシンポジウムDAY1	2,978	2,679
1207_日経SDGsフォーラムシンポジウムDAY2	2,490	2,028
1207_医療DX	1,442	1,394
1208_日経SDGs/ESG会議	2,099	1,757
1208_BSテレビ東京	204	
1209AM_FRaU	683	655
1209PM_資産運用の未来像シンポジウム	1,142	591
1209_日経デジタル・サステナビリティ会議	1,589	755
1210_ジェンダーギャップ会議	1,479	1,370
1210_グリーンアーキテクチャ会議	1,129	588
	15,235	11,817



SDGs未来面
編集面 掲載事例

東京海上ホールディングス様
日経朝刊
2021年9月9日掲載
15段カラー

SDGs未来面
編集面 掲載事例

三菱地所様
日経朝刊
2021年10月21日掲載
15段カラー

31

異常気象への備え SDGs が指針
常識を超える災害、保険会社に期待

ふんばり型のような存在だが、異常気象や地震が起きるとき、頼りになるのが損害保険。これだけで済むかという疑問を抱く企業も多い。SDGsの目指している、その変化の激しい社会が、自然災害をどう防ぐか。持続可能な開発目標、保険会社に求められることがある。

リスクの多様化
商品開発で対応

SUSTAINABLE GOALS

不確実な時代、社会課題の解決で成長——

東京海上ホールディングス社長 小宮 純氏

37

日本の魅力向上 地方とともに
都市と支え合い SDGs 実現

日本酒やトマト
異業種向け投資

SUSTAINABLE GOALS

隠れた原石、地域と磨く——

三菱地所社長 吉田 洋一氏



SDGs未来面
編集面 掲載事例

第一三共様
日経朝刊
2021年11月30日掲載
15段カラー

SDGs未来面
編集面 掲載事例

リコー様
日経朝刊
2021年12月8日掲載
15段カラー

ウィズコロナ時代の製薬とは SDGs 推進、今こそ好機

振り返るとこの2年、製薬業界はコロナ禍から期待された伸びにない。新型コロナウイルスの迅速なワクチンで、機会ながら日本製は後じんを押し上げた。ウィズコロナ時代はまた大きくSDGs(持続可能な開発目標)を軸に進んでいく好機といえる。



国産ワクチン 世界にどう貢献

世界は新型コロナウイルスの流行に苦しむ中、日本がワクチン開発の面で貢献している。その中でも、国産ワクチンが注目を集めている。国産ワクチンの開発は、SDGsの目標13「気候変動に具体的な対策を」と目標9「産業とイノベーションに力を入れる」に貢献している。また、国産ワクチンの開発は、SDGsの目標3「健康と福祉」にも貢献している。国産ワクチンの開発は、SDGsの目標11「持続可能な都市とコミュニティ」にも貢献している。国産ワクチンの開発は、SDGsの目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」にも貢献している。




「サイエンス＆テクノロジー」で価値を生み出す——

第一三共社長 高橋 淳氏

リサイクルへの貢献、製造業に課視 事業とSDGs、ともに重視

カーボン・エコノミー(脱炭素社会)への転換が進む中、材料の再利用やリサイクルへの貢献が製造業に課せられるようになってきた。先研研が積極的推進する事業とSDGs(持続可能な開発目標)を軸に進んでいく好機といえる。



顧客と密に対話 省エネも後押し

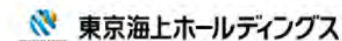
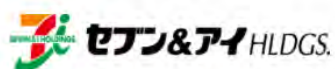
顧客と密に対話することで、省エネにも貢献している。省エネはSDGsの目標7「エネルギーをたくわえて持続可能な開発を促進する」に貢献している。また、顧客と密に対話することで、SDGsの目標13「気候変動に具体的な対策を」にも貢献している。顧客と密に対話することで、SDGsの目標11「持続可能な都市とコミュニティ」にも貢献している。顧客と密に対話することで、SDGsの目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」にも貢献している。




ゴールを明示、活動の輪を社内外に——

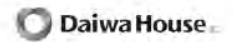
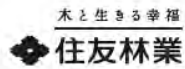
リコー社長 山下 良則氏

2021年12月現在

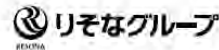
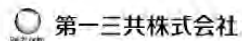
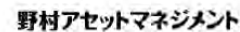
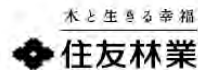


これまでの日経SDGsフォーラムご協賛社一覧（順不同）

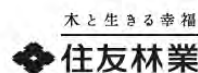
2020年度



2019年度



2018年度



		プラチナ会員 2,650万円
基本 メニュー	「SDGs未来面企画」 (日本経済新聞15段カラー 編集面+ 日本経済新聞15段モノクロ 広告)	○
	日経ビジネスタイヤップ 4C2P 「SDGsの未来(仮)」掲載1回	○
	シンポジウム(国内年3回予定)への登壇1回 ※原則として専務取締役以上でお願い致します。 ※ご登壇者様のご予定とシンポジウム開催日の調整が取れた場合	○
	シンポジウム(国内年3回予定)へのプログラム等社名ロゴ、 社員ご招待、資料配布	○
	「日経ESG経営フォーラム」の 研修プログラムへのご参加	○
	Web施策(詳細調整中)	○

上記料金に消費税、原稿制作費等は含まれておりません。

上記メニューのカスタマイズはご希望に合わせてご提案をさせていただきます。

「日経SDGsフェス」2020年度開催実績

「日経SDGsフェス」では、当日以降もアーカイブ配信を「日経チャンネル」で実施。(約1年間) 日経グループのメディアを通じて、アーカイブ視聴も促進しています。

日経SDGsフェス アーカイブ配信中!

日経チャンネル **NIKKEI CHANNEL** <https://channel.nikkei.co.jp/sdgsfes/>

8月11日(月)～9月16日(水)に開催した日経SDGsフェス(主催:日経経済研究所、日経BP、SDGx)に関するイベントを多数収録して配信し、その内容を日経チャンネルから配信しています。多くの方法で視聴、共有がご利用いただけます。アーカイブ配信もしておりますので、当日見逃した方も、もう一度内容を観覧したい方も、ぜひご覧ください。

日経SDGsフォーラム シンポジウム
<https://channel.nikkei.co.jp/sdgs14>

SDGs未来会議
<https://channel.nikkei.co.jp/sdgsma10511>

SDGs×教育
<https://channel.nikkei.co.jp/sdgs0515>

日経SDGs/ESG会議
<https://channel.nikkei.co.jp/sdgs1>
<https://channel.nikkei.co.jp/sdgs2>

日経社会イノベーションフォーラム 水素
<https://channel.nikkei.co.jp/sdgs0515>

日経SDGsフェス 秋の陣
開催決定!
 8月31日(月)～9月4日(金)
 日経経済研究所、日経BP、SDGxの協賛で開催される日経SDGsフェス(主催:日経経済研究所、日経BP、SDGx)に関するイベントを多数収録して配信し、その内容を日経チャンネルから配信しています。多くの方法で視聴、共有がご利用いただけます。アーカイブ配信もしておりますので、当日見逃した方も、もう一度内容を観覧したい方も、ぜひご覧ください。

NIKKEI event&seminar
 日経イベント&セミナー
<https://events.nikkei.co.jp/>
 または「日経イベント＆セミナー」検索

日経SDGsフェス アーカイブ配信中!

日経チャンネル **NIKKEI CHANNEL** <https://channel.nikkei.co.jp/autumn2020/>

8月31日(月)～9月4日(金)に開催した日経SDGsフェス(主催:日経経済研究所、日経BP、SDGx)に関するイベントを多数収録して配信し、その内容を日経チャンネルから配信しています。多くの方法で視聴、共有がご利用いただけます。アーカイブ配信もしておりますので、当日見逃した方も、もう一度内容を観覧したい方も、ぜひご覧ください。

日経SDGsフォーラム 秋の陣
<https://channel.nikkei.co.jp/sdgs20209>

H経SDGs/ESG会議
https://channel.nikkei.co.jp/sdgs_esg

デジタルの力で推進するSDGs
https://channel.nikkei.co.jp/sdgs_digital

ヘルスSHIFT100
<https://channel.nikkei.co.jp/healthshift100>

サステナブル・ファイナンスセミナー
https://channel.nikkei.co.jp/sdgs_sustainable

海洋プラスチックごみ問題の解決に向けて
<https://channel.nikkei.co.jp/micropplastic20209>

ジェンダーギャップ会議
<https://channel.nikkei.co.jp/gendergap20209>

資産運用会社の未来像を考えるプロジェクト
<https://channel.nikkei.co.jp/assetmanagement20209>

日経SDGsフェス アーカイブ配信中!

日経 **NIKKEI SDGs FESTIVAL NIHONBASHI TOKYO WINTER**

2020年11月24日～25日に東京・日本橋で開催した「日経SDGsフェス」(主催:日経経済研究所、日経BP、SDGx)に関するイベントを多数収録して配信し、その内容を日経チャンネルから配信しています。多くの方法で視聴、共有がご利用いただけます。アーカイブ配信もしておりますので、当日見逃した方も、もう一度内容を観覧したい方も、ぜひご覧ください。

日経SDGsフォーラム 冬の陣
https://channel.nikkei.co.jp/winter_sdgs1
https://channel.nikkei.co.jp/winter_sdgs2

日経SDGs/ESG会議
https://channel.nikkei.co.jp/winter_esg1
https://channel.nikkei.co.jp/winter_esg2

気候非常事態宣言とカーボンニュートラル・アクション・プラン
https://channel.nikkei.co.jp/winter_sustainable

ジェンダーギャップ会議
<https://channel.nikkei.co.jp/gendergap202011>

シンポジウムはアーカイブ配信は上記URLからご覧いただけます

日経チャンネル **NIKKEI CHANNEL**



2020年度

春

事前登録総数	34,821
視聴UD	52,026

5月11日	SDGs未来会議
5月11日	日経SDGs/ESG会議 Day1
5月12日	日経SDGs/ESG会議 Day2
5月14日	日経SDGsフォーラム シンポジウム
5月15日	水素エネルギー社会の実装とグローバル連携
5月15日	ジェンダーギャップ会議 ジェンダー平等は企業の経営戦略だ
5月15日	SDGs×教育 学生と考えるSDGsに取り組む企業の未来

秋

事前登録総数	24,683
視聴UD	33,990

8月31日	日経SDGs/ESG会議
9月1日	デジタルの力で推進するSDGs
9月1日	日経SDGsフォーラム シンポジウム
9月2日	ヘルスSHIFT100 日本発！世界へ広げるレジリエンスな健康社会
9月2日	資産運用会社の未来像を考えるプロジェクト 次のステージに向かうESG投資
9月2日	サステナブル・ファイナンスセミナー 持続可能な社会の実現～日本市場の課題と展望～
9月3日	海洋プラスチックごみ問題の解決に向けて
9月4日	ジェンダーギャップ会議 多様性のある組織が勝つ！女性リーダーを増やす企業の戦略

冬

事前登録総数	15,809
視聴UD	17,046

11月24日	日経SDGs/ESG会議 Day1
11月25日	日経SDGs/ESG会議 Day2
11月25日	気候非常事態宣言とカーボンニュートラル・アクションプラン
11月26日	日経SDGsフォーラム シンポジウム DAY1
11月27日	日経SDGsフォーラム シンポジウム DAY2
11月27日	日経SDGsアイデアコンペティション
11月27日	「ジェンダーギャップ会議」ニューノーマル時代に「個の力」を生かせる組織とは？ 先進企業に見るダイバーシティ経営

2021年 2月 大阪開催

事前登録総数	
視聴UD	

2月18日	SDGsビジネス会議～いのちをつなぐ～
2月19日	SDGs 教育会議～次代をつくる学び～
2月20日	SDGs 万博・未来構想～持続可能なまちとくらし～

※上記事前登録者数は、各日のセッションの合計値です。
 ※上記UDは、各日のUD(ユニークデバイス/日)の合計値です。



SDGs未来面 編集面 掲載事例

大和証券グループ本社様 日経朝刊 2020年8月5日掲載 15段カラー

**経営基盤 SDGs で盤石に
できること 社員一人ひとりが模索**

SDGを目標行動可能な開発目標を経営の中核テーマにする企業が数多い。大和証券グループはグリーンボンドの活用で、買収と本業の両方で、再生可能エネルギー、自然資本の活用で経営から社会まで、SDGに貢献したビジネスを手掛けている。経営でSDGを軸の中心となる人々に直面の課題や課題を聞いた。

大和証券グループ 「ハイブリッド型」で新たな価値創造

大和証券グループは、社会資本の活用を推進する「SDG Hub」とし、本業の成長と社会貢献を両立させている。その中で、SDGを軸とした新たな価値創造を推進している。その中で、SDGを軸とした新たな価値創造を推進している。

国内でのグリーンボンドの発行額

発行額 (億円)	グリーンボンド	ハイブリッド型
100	100	0
200	200	0
300	300	0
400	400	0
500	500	0
600	600	0
700	700	0
800	800	0
900	900	0
1000	1000	0

大和証券グループは、社会資本の活用を推進する「SDG Hub」とし、本業の成長と社会貢献を両立させている。その中で、SDGを軸とした新たな価値創造を推進している。その中で、SDGを軸とした新たな価値創造を推進している。

大和証券グループは、社会資本の活用を推進する「SDG Hub」とし、本業の成長と社会貢献を両立させている。その中で、SDGを軸とした新たな価値創造を推進している。その中で、SDGを軸とした新たな価値創造を推進している。

大和証券グループは、社会資本の活用を推進する「SDG Hub」とし、本業の成長と社会貢献を両立させている。その中で、SDGを軸とした新たな価値創造を推進している。その中で、SDGを軸とした新たな価値創造を推進している。

大和証券グループは、社会資本の活用を推進する「SDG Hub」とし、本業の成長と社会貢献を両立させている。その中で、SDGを軸とした新たな価値創造を推進している。その中で、SDGを軸とした新たな価値創造を推進している。

社会貢献は収益源になる――

大和証券グループは、社会資本の活用を推進する「SDG Hub」とし、本業の成長と社会貢献を両立させている。その中で、SDGを軸とした新たな価値創造を推進している。その中で、SDGを軸とした新たな価値創造を推進している。

SDGs未来面 編集面 掲載事例

東京センチュリー様 日経朝刊 2020年8月27日掲載 15段カラー

**リースはSDGs そのもの
持続可能な社会インフラ 主体的に構築**

リース会社はSDG（持続可能な開発目標）の観照性が高い。リース・リース・リース・リースの3Rが事業の中核にあるから、コロナショックを経て、多くの中小企業に社会貢献を求められる機会が高まるなかで、リース業界は持続可能な社会インフラの構築に主体的に積極的な取り組みを進めている。

地方創生やEV 幅広く社会貢献

リース会社はSDG（持続可能な開発目標）の観照性が高い。リース・リース・リース・リースの3Rが事業の中核にあるから、コロナショックを経て、多くの中小企業に社会貢献を求められる機会が高まるなかで、リース業界は持続可能な社会インフラの構築に主体的に積極的な取り組みを進めている。

東京センチュリー社長
野上 誠氏

必要なサービス、貸すだけでなく提供――

リース会社はSDG（持続可能な開発目標）の観照性が高い。リース・リース・リース・リースの3Rが事業の中核にあるから、コロナショックを経て、多くの中小企業に社会貢献を求められる機会が高まるなかで、リース業界は持続可能な社会インフラの構築に主体的に積極的な取り組みを進めている。

**SDGs未来面
編集面 掲載事例**

野村アセットマネジメント様
日経朝刊
2020年10月21日掲載
15段カラー

**SDGs未来面
編集面 掲載事例**

キリンホールディングス様
日経朝刊
2020年11月5日掲載
15段カラー

20

投資は社会の役に立つ
積み立てとの融合、高まる注目度

人生100年時代、社会の不安がない老後をいかに迎えるかが課題になっている。そのための要諦として、どうせなら利息や増殖感のある投資によって実現したい。資産の元金もSDG（持続可能な開発目標）に基づく資産にシフトする。自らの投資が社会の役に立っていると実感できるし、満足度も高まるべきである。

「助け合う日本人 SDGs に合致」

SDGs 17項目のアイコンが並び、それぞれが社会の課題を象徴している。その中で、特に注目を集めているのが、社会の課題を解決するために、SDGs に合致した投資を行うことである。これは、SDGs に合致した投資を行うことで、社会の課題を解決し、持続可能な社会を実現することができる。また、SDGs に合致した投資は、社会の課題を解決するために、SDGs に合致した投資を行うことで、社会の課題を解決し、持続可能な社会を実現することができる。

野村アセットマネジメント社長のインタビュー記事。持続成長に期待、年金運用先にも——

野村アセットマネジメント社長 中川 順子氏

野村アセットマネジメントは、年金運用先にも——

野村アセットマネジメントは、年金運用先にも——

33

「世界を健康に」知見結集
ヘルスサイエンス、新たな歴史紡ぐ

長い歴史ある企業だが、さらに持続的な存在にするために、道を敷くようとしている。活発な事業、成長を遂げ、高質料に突き進む。社会課題解決のために新しい領域へと挑戦する。116年を誇るキリンホールディングス(株)は、世界の人の健康に貢献していく。企業への成長を目的とし、中核技術はビール醸造を科学と位置づけ、最先端バイオ技術に、新たに注目のヘルスサイエンス領域だ。

プラズマ乳酸菌
可能性は無限大

プラズマ乳酸菌の可能性は無限大。ヘルスサイエンス、新たな歴史紡ぐ。

プラズマ乳酸菌の可能性は無限大。ヘルスサイエンス、新たな歴史紡ぐ。

成長の芽は課題解決の中にある——

野村アセットマネジメント社長のインタビュー記事。成長の芽は課題解決の中にある——

野村アセットマネジメント社長 中川 順子氏

野村アセットマネジメントは、年金運用先にも——

野村アセットマネジメントは、年金運用先にも——

2020年度掲載事例

SDGs未来面 編集面 掲載事例

三井不動産様
日経朝刊
2021年2月24日掲載
15段カラー

街づくり 水と緑と共生

豊かな自然環境、イノベーションの源

三井不動産の企業理念を象徴する「& (アンド)」をデザインしたロゴマークが「共生・共存」の多様な価値観の連なりと多岐にわたるSDGs (持続可能な開発目標) の考え方を早くから雑誌の編集に載せてきた「自然と緑と共生」という考えを、読者にも伝えている。掲載のイメージを振り返る。

日本橋再生計画 SDGsに直結

日本橋の歴史を大切にしながら、最新の建築技術を取り入れ、街を再生させる。SDGsの観点から、環境と共生、社会と共生、経済と共生を実現する。日本橋の再生計画は、SDGsの観点から、環境と共生、社会と共生、経済と共生を実現する。




CO₂ゼロ工場 環境負荷に配慮

CO₂ゼロ工場の実現に向けて、環境負荷を削減する。SDGsの観点から、環境と共生、社会と共生、経済と共生を実現する。CO₂ゼロ工場の実現に向けて、環境負荷を削減する。





三井不動産社長 福田 正信氏

「&」の理念、多様な価値観つなぐ――

「&」の理念、多様な価値観をつなぐ。三井不動産の企業理念を象徴する「& (アンド)」をデザインしたロゴマークが「共生・共存」の多様な価値観の連なりと多岐にわたるSDGs (持続可能な開発目標) の考え方を早くから雑誌の編集に載せてきた「自然と緑と共生」という考えを、読者にも伝えている。掲載のイメージを振り返る。

SDGs未来面 編集面 掲載事例

サントリーホールディングス様
日経朝刊
2021年3月3日掲載
15段カラー

コロナ越え より良き社会を

SDGsと経済の両立、皆が手を携えて

世界の景気を一変させた新型コロナウイルス感染症の猛威から1年、生活の改善を余蘄なく感じ、地球規模で突きつける気候変動も、SDGs (持続可能な開発目標) にもあるすべての人に健康と福祉を「人々の間の不平等をなくそう」といった内容とも深く関わるSDGの目標年まであと10年が、私たちにSDGsとどう向き合っていくのか、感動と希望の両輪が手を取り合っている中で日本の未来をどう考えるか。

日本橋再生計画 SDGsに直結

日本橋の歴史を大切にしながら、最新の建築技術を取り入れ、街を再生させる。SDGsの観点から、環境と共生、社会と共生、経済と共生を実現する。日本橋の再生計画は、SDGsの観点から、環境と共生、社会と共生、経済と共生を実現する。




CO₂ゼロ工場 環境負荷に配慮

CO₂ゼロ工場の実現に向けて、環境負荷を削減する。SDGsの観点から、環境と共生、社会と共生、経済と共生を実現する。CO₂ゼロ工場の実現に向けて、環境負荷を削減する。





サントリーホールディングス社長 新設 剛史氏

アジアの自然発想を経営哲学に――

アジアの自然発想を経営哲学に。サントリーホールディングスの経営哲学は、アジアの自然発想に基づいている。サントリーホールディングスの経営哲学は、アジアの自然発想に基づいている。



SDGs未来面 編集面 掲載事例

住友林業様 日経朝刊 2021年3月24日掲載 15段カラー

自然の恵みを「見える化」 計画的な循環利用、SDGs 経営の軸に

自然の恵みである山、川、森、そして水など、長い年月をかけて育まれる自然資源の恵み。これを未来にまで受け継ぐために、自然の恵みを「見える化」して、計画的な循環利用を推進し、SDGs経営の軸に据えることが、企業にとって重要な課題の一つである。住友林業は、自然資源の恵みを「見える化」し、計画的な循環利用を推進し、SDGs経営の軸に据えている。

秀吉が眺めた桜 持続社会見守る

秀吉が眺めた桜。持続社会を見守る。住友林業は、自然資源の恵みを「見える化」し、計画的な循環利用を推進し、SDGs経営の軸に据えている。この取り組みは、SDGs経営の軸に据え、自然資源の恵みを「見える化」し、計画的な循環利用を推進し、SDGs経営の軸に据えている。



自然資源の恵みを「見える化」し、計画的な循環利用を推進し、SDGs経営の軸に据えている。



「国土報恩の精神、着実に実行」
住友林業社長 光吉 敏郎氏

SDGs未来面 編集面 掲載事例

ソフトバンク様 日経朝刊 2021年3月26日掲載 15段カラー

本業の先 見据えるSDGs 「情報革命で幸せに、理念変える」

社会の形を変え、新しいインフラのつながりが広がる。IT（情報技術）の進化によって、社会の形が変わる。住友林業は、自然資源の恵みを「見える化」し、計画的な循環利用を推進し、SDGs経営の軸に据えている。

近づく5G社会 大転換期の指針

近づく5G社会。大転換期の指針。住友林業は、自然資源の恵みを「見える化」し、計画的な循環利用を推進し、SDGs経営の軸に据えている。この取り組みは、SDGs経営の軸に据え、自然資源の恵みを「見える化」し、計画的な循環利用を推進し、SDGs経営の軸に据えている。



住友林業は、自然資源の恵みを「見える化」し、計画的な循環利用を推進し、SDGs経営の軸に据えている。



「超オープン」に生まれ変わる覚悟
ソフトバンク社長 宮内 謙氏



2020年5月14日開催／オンライン配信
SDGsフォーラムシンポジウム 採録特集 掲載事例

事前登録者数 8,615
当日視聴UD数 12,855
アーカイブ再生数 16,117(~6/30)
詳しくは別紙資料をご参照ください



Financial Times
2020年7月23日
フルページ

日経朝刊
2020年6月25日掲載 編集特集
30段モノクロ

Nikkei SDGs Forum Symposium
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
Overcoming COVID-19 will promote positive change and provide clues for achieving the SDGs
A four-pronged strategy for a sustainable recovery
SDGs as a guide for building back better from COVID-19
Sustainable Forestry is key to solving social and environmental issues
Shaping the next decade: Humanity's new moralist
Making a social impact as an asset management company
Supply chain: Asia's regional cooperation for rule-of-law formation, Japan to possibility
Autonomous electric vehicles can help realize a more sustainable society

日経SDGsフォーラム シンポジウム
コロナ後の経済蘇生へ
企業個人の意識変化進む
ゴールから考える手法必要
産業界動かす経済性カギ
健康・経済の両立を目指す
供給網 アジアの域内協力をルール形成、日本に可能性
コロナ対策の現状はプラス

持続可能な新常态を
木造・緑化技術で未来都市
長期展望、事業特性に合わせて
気候変動 共創対話で解決
ESG 日本がリーダーに
資金の流れはインパクト重要
ハバネロが ESG を重視

2020年9月1日開催／オンライン配信
SDGsフォーラムシンポジウム 採録特集 掲載事例

事前登録者数 5,675
当日視聴UD数 7,435
アーカイブ再生数 6,103(～10/4)
詳しくは別紙資料をご参照ください

日経朝刊
2020年10月6日掲載 編集特集 30段モノクロ



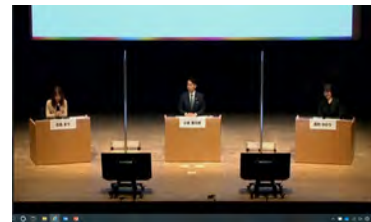
The collage displays several pages from the '日経SDGsフォーラム シンポジウム' (Nikkei SDGs Forum Symposium) section. The main headline is '持続可能性への挑戦' (Challenge to Sustainability). Other visible headlines include 'コロナ下でも手緩めず' (Don't relax even in the COVID-19 era), 'SDGs債 拡大目指す' (Aiming for expansion of SDG bonds), '社会・企業統治も焦点' (Social and corporate governance also a focus), '17カ国に低炭素技術' (Low-carbon technology in 17 countries), 'グリーン化で経済再生' (Economic revival through greening), '市民と共創するデジタル化必要' (Need for digitalization co-created with citizens), '炭素会計 日本に提供へ' (Carbon accounting provided to Japan), and '「論議と算盤」考える経営を' (Management considering 'discussion and abacus').

At the bottom of the collage, there are logos for sponsors and partners: 住友林業 (Sumitomo Forestry), KIRIN, Tokyo Century, Asahi, 大和証券グループ (Daiwa Securities Group), MS&AD, DaiwaHouse, SoftBank, salesforce, and 三菱地所 (Mitsubishi Estate).



**2020年11月26日、27日開催／オンライン配信
SDGsフォーラムシンポジウム 採録特集 掲載事例**

**事前登録者数 6,902
当日視聴UD数 8,289
アーカイブ再生数 8,177 (~1/15)
詳しくは別紙資料をご参照ください**



Financial Times
2021年1月27日
フルページ

日経朝刊
2021年1月21日掲載 編集特集
45段モノクロ



本企画書の内容は、変更される可能性がございます。
あらかじめご了承をお願い致します。

日本経済新聞社
メディアビジネス イベント・企画ユニット
営業企画部
「日経SDGsフォーラム」担当

〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7
電話: 03-6256-7498